

酷暑払い応援除伐（カサツムリ）活動 報告

作成：水野 八洲夫 2015年8月15日(土)

1. 開催場所： 神奈川県足柄上郡山北町 カサツムリ
2. 開催日： 2015年8月13日(木) 9:00 ~15:00 天候：曇り一時雨
3. 参加者（敬称略）：井伊、水野 丹沢・森の仲間たち：1名
4. 活動内容：

帰省ラッシュ、更には朝から雨模様の日となったが、思いのほかスムーズに東名高速を抜け、大野山に着くころには雨も上がっていたため、カサツムリへ作業に向かった。今回は大野山からの林道を使用した。頂上にある大野山牧場も閉鎖となるそうである（一部はもう草が生い茂る状態となっている）。

今回の作業は、斜面のシノ竹刈りとアブラチャンの除伐。今にも雨が降りそうな曇り空に風が吹き、夏の除伐作業には絶好のコンディションの中、水野としては久しぶりの作業で、目一杯汗をかかせてもらった。

午後からは、天気予報通り雲が湧いてきたため作業を切り上げ、井伊氏の特殊伐採の現場に案内してもらった。

どちらも、特殊伐採の依頼が来るところだけに、処理木の周りは余裕もない上に伸び放題で、大変な現場だが、徐々に処理は進んでいる（作業の中心は丹沢TC）。

段取りも伐採も相当難しい作業に間違いはないが、もう少しスピーディーにしたいとのことだった。

5. 活動写真：



大野山から現場方面を望む
所々薄く見えるのが放牧地
手前はすでに伸び放題



現場1（かなしぶ通信の現場）

真ん中の木の天辺が無いのが分かっていただけだろうか（↓拡大写真）



下の枝先まで
歩いて行って
処理を行う

現場2（現在作業中）



↑ 処理済み



↑ 処理中

木の根本真ん中に白く見えるのは6mのハシゴ。
木の高さがすごい



←処理前

隣家への張り出しを
全て取り除く



←伐根
靴が26cm
根元も
大きい